

特定不妊治療の治療ステージと助成対象範囲

治療内容	採卵まで			採精(夫)	受精 (前培養・媒精(顕微授精)・培養)	胚移植						妊娠の確認 (胚移植の概ね2週間後)
	(自然周期で行う場合もあり) 薬品投与(点鼻薬)	(自然周期で行う場合もあり) 薬品投与(注射)	採卵			新鮮胚移植		胚凍結	胚凍結移植			
						胚移植	黄体期補充療法		(自然周期で行う場合もあり) 薬品投与(点鼻薬)	胚移植	黄体期補充療法	
平均所要日数	14日	10日	1日	1日	2~5日	1日	10日		7~10日	1日	10日	1日

A	新鮮胚移植を実施											
B	凍結胚移植を実施 ※											
C	以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施											
D	体調不良により移植のめどが立たず治療終了											
E	受精できず、又は胚の分割停止、変性、多精子授精などの異常授精により中止											
F	採卵した卵が得られない、又は状態の良い卵が得られないため中止											
G	卵胞が発育しない、又は排卵終了のため中止											
H	採卵準備中、体調不良により治療中止											

※B 採卵・受精後、1~3週程度の間隔をあけて母体の状態を整えてから胚移植を行うとの当初からの治療方針の基づく治療を行った場合

助成対象

対象外